

フージャースコーポレーション

設備や仕様に新企画

家事・育児の負担軽減 女性目線で商品改良

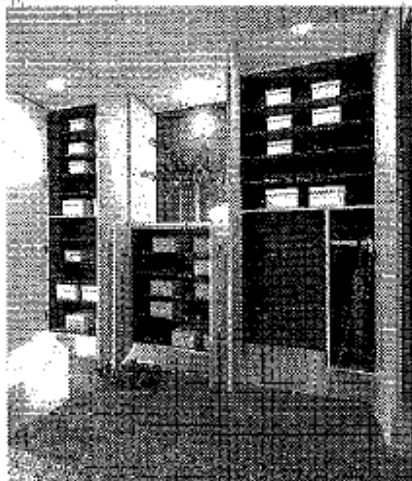
フージャースコーポレーションは、家事や育児の負担を軽減し、地球環境にも配慮した住宅設備や間取り上の工夫を今後のマンション企画で積極提案する。30代を中心とした子育て中の女性で構成する商品デザイン課を今年1月に新設。営業も含めた女性スタッフの意見を同課が集約し、50アイテム以上の設備や仕様、デザインに対して女性の視点による改良や新たな工夫を加えた。今後発売する自社分譲物件に採用する。同社の顧客の中心は30代。同じ生活感覚を持った同世代の女性スタッフによる生活提案を強めることで、住まい選びの決定権を持つ女性への訴求力を高める。

家事や育児の負担軽減に役立つ住まいづくりの新コンセプトを、時間や空間にゆとりをもった毎日の生活を可能にする「ワンルーム(おどろ)住まい」に設定した。

新コンセプトの採用初弾は埼玉県川口市で販売中の「デュオヒルズ川口元郷(62戸)」。茨城県つくば市の「デュオヒルズつくば吾妻(125戸)」と、東京都葛飾区

の「デュオ掘切菟浦園(42戸)」でも採用する。新コンセプトを元に改良や工夫を取り入れた設備や仕様は目的別に「家事の負担軽減」「収納のしやすさ」「生活の安全」「環境配慮」の4分野に体系化した。太陽光発電や高効率給湯器などを導入する「環境配慮」以外のアイテムは既存商品に同社女性スタッフが改良を加えて、コストアップを最小限に抑えた。

「家事」ではバスタオルやシーツといった大きな洗濯物が楽に干せる2本ランドリーパイプを設置。浴室下アはゴムパッキンをなくしてカビの発生を防ぎ、洗面台のボ



ペビーカーも収納できる下足入れ(右下)をはずすと底板

ウルを片側に寄せること
で使いやすく手入れも簡単な広いカウンター面積を持った一体型洗面ボウルを採用する。

「収納」は収納ポリariumにとどまらず、薬な収納にも配慮した。トール型下足入れの一部の底板を着脱可能にすることでブーツやペビーカーなどの収納を可能にしたほか、和室のない間取りでも来客用布団が収納できるようにクローゼットの奥行きを確保した。

「安心」に関しては、万が一の事故を防ぐロック機能付きの包丁刺しを採用するほか、ドアスコップやスイッチを通常の位置のほかに子ども用の高さにも設置する。将来のリフォームがしやすい水回りをまとめた間取りプランや、ドアの開閉で間取り変更できるプランなど、安心して永住できる工夫も取り入れる。

新コンセプトによる設備や仕様は、物件の属性ごとに採用するアイテムを選択する。また、入居者の声も反映させながら継続的に改良を加えることとしている。

欲しかった暮らしを、しよう。